



# 恩田だより

令和3年7月  
横浜市立恩田小学校  
TEL (961) 7651  
FAX (961) 6014



## 「そろえる 心」

副校長 齋藤 千枝 (さいとう ちえ)

「おはようございます。」

朝の校門で、両足をぴたっとそろえてあいさつをする子がいます。その笑顔と気持ちのよい姿勢にいつも心が清々しくなります。

そして、本校の自慢の一つだと前々から思っていたのは、いつもきれいにそろっている靴箱の中の靴です。さらに清掃時間には、子どもたちがたくさん靴を一度取り出し、靴箱をきれいにしてから、また靴箱に戻しています。自分の靴だけでなく、当たり前のようにみんなの靴をそろえている気持ちがとてもすてきだと思っています。「そろえる」ことから気持ちが伝わるのは、どうしてでしょう。

私がクラス担任をしていたとき、放課後、ロッカーのうしろやドアの溝などを掃除し、机やいすをそろえ、黒板をきれいにし、学級文庫やファイルといったものが乱れていないかを見た後、教室を出ていくことを習慣としていました。教室をそろえて明日の子どもたちを迎えていたのです。

けれど、最初からこうだったのではありません。まだ経験の浅い頃は、教室をそろえるという意識は、ずっと低かったのです。その意識が大きく変わったのは、先生になって4年目の夏でした。

夏休みが終わる前に同じ学年を組んでいた先生たちが、子どもたち一人ひとりの机やロッカーなど、きれいにふいていたのです。「えっ、全部ふくのですか。」面倒くさがりの私は思わず、聞きました。風を通して、少し掃除をすればよい程度にしか考えていなかったのです。「きれいな教室で子どもたちを迎えてあげたいでしょう。」と、当たり前のように手を休めずに先輩の先生は言ったのです。

そこから、教室をそろえるという意識が変わりました。すると、どうでしょう。今まで以上に教室に愛着が湧き、明日また登校してくる子どもたちの顔を思い浮かべながら、わくわくするような気持ちで授業の準備を行うようになっていきました。面倒くさがりの私が、教室をそろえていないと、逆に落ち着かなくなったのです。そんな教室を使う子どもたちも「みんなで使う教室を気持ちよく使おう」という姿が多く見られるようになり、私の「そろえる」がいつの間にか伝わっていることを感じました。

「そろえる」ことを意識することで、その人自身の心にも行いにもゆとりができ、相手を思いやる心につながるのだと思います。そして、そのそろえる気持ちは、それを見ている人、そろえた環境を使う人にも思いやりの心が伝わるのだと思います。時には、そろえている人の熱意や意気込みまで伝わることも……。だれかの靴や並んでいる本が乱れていたり、友達の手操着入れや給食袋が落ちていたりしたとき、黙ってそっとそろえてあげる。一人ひとりがちょっとそろえてみる。それがみんなに伝わり、みんなの心がそろおうようになる。

そんな「そろえる 心」をこれからも大事にして、恩田小学校のみなさんの心がそろおうようにしていきたいと思っています。